

教材分析シート

(1)年(花)組 授業者(村上 真裕子)

教材名

ぽんたと かんた (わたしたちの道徳)

内容項目

善悪の判断 A (1)

ねらい

ぽんたに「行かない。」と言われた時のかんたの心の葛藤を通じて、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う道徳的心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

かんた

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

ぽんた

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	ぽんたを入ってはいけないうら山に行こうと誘うが注意されたので、1人でうら山に行った。
助言者の登場	「ぼくは行かない。」とぽんたにはっきりと言われた。
転 (道徳的変化) After (変化後)	かんたは、黙って考えた。 「ぼくも行かない。自分で考えて決めた。」

④ 一文読み (要約)

入ってはいけないうら山に行ったかんたが、「ぼくは行かない。」とぽんたにはっきりと断られたことで、自分で黙って考え「ぼくも行かない。」と決めた話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 「へいき、へいき。」と言っているときのかんたは、どんな気持ちだったでしょう。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 自分で行かないと決めた時、かんたはどんなことを考えていたでしょう。
補助発問 (あれば)	「最初行こうとしたのに、どうしてやめたのでしょうか。」
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) なかよくぶらんこにゆられている時、どんなことを考えていたでしょう。

